

〔その他〕

中年女性を狙い撃つ死因……………大久保 正 一 (日 本 大)  
わが国の近年の疾病構造の動向に関する研究(1)……………根 岸 龍 雄 (東 京 大)  
ほ か  
日・英両国の死亡現象に関する比較統計学的研究……………飯 淵 康 雄 (琉 球 大)  
ほ か

(山口喜一記)

### 第3回アジア・太平洋人口会議

本1982年9月20日(月)から29日(水)まで、スリランカの首都コロンボにおいて、アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)の主催の下に、アジア・太平洋人口会議(The Asian and Pacific Population Conference)が開催された。

この種の会議としては、1963年12月インドのニューデリーにおいて、当時のECAFE主催によるアジア人口会議が開かれたのが最初で、その9年後の1972年11月、第2回のアジア人口会議がわが国(東京プリンスホテル)において、ECAFE・日本政府共催の下に開催されている。その後10年めに、今回の会議は若干の名称変更はあるものの、これに次ぐ第3回めのアジア地域の人口会議として開かれたものである。

今回の会議には、ESCAP加盟国と準加盟国39か国中の34か国代表が出席したが、その他の関係機関などからの出席者も含めると、合計約300人を超える多数が参加した。

日本の政府代表は津島雄二厚生政務次官、千葉一夫駐スリランカ大使、それと岡崎陽一人口問題研究所長で、その他随員など合計16名がわが国から出席した。本研究所からは岡崎所長のほかに河野稠果人口政策部長が、黒田俊夫日本大学人口研究所顧問らとともに、国連専門家として出席している。

会議のメイン・テーマは、「人口と開発への総合的取組み(An integrated approach to population and related development issues)」であり、全体会議と分科会(10項目のテーマによる)において活発な討議がなされたが、1984年にメキシコにおいて開催予定の世界人口会議に対する、アジアからの呼びかけ“Call for action on population and development”が採択された。

なお、この会議の詳細報告が本誌次号に掲載される予定となっている。

(山口喜一記)